

進学クラスCAN-DOリスト

教科(国語)

科目(古典・古典B・国語演習)

3年後の到達目標	各学年での目標 (中期的目標)	具体的な取り組み計画・内容				評価指標	自己評価	
		授業プラン	学習のポイント	土曜講習	放課後講習			
1年生	○古文に親しむ、古文の世界と現代の差異や共通点があることを理解する ◇漢文に親しむ、漢文の訓読のきまりを理解する #古文単語50語程度の習得	1学期	【古典】 ○説話集・物語等の読解 ☆品詞・動詞の学習	【古典】 ○歴史的仮名遣いと現代仮名遣いの違いがわかる ○古文で書かれた文章の概要を掴むことができる ○古文で書かれた文章の面白さや現代文との違いを感じることができる ○場面や登場人物について想像も交えながら整理できる ☆現代文法と古典文法の違いを理解する ☆品詞を覚える ☆文中における動詞のはたらきを理解する ☆動詞の活用の種類や活用の規則性を理解し、覚える			①品詞分類表を覚えている(☆) ②動詞の活用の種類を覚えている(☆) ③動詞の活用の規則を覚えている(☆) ④定期考査で60点以上取ることができる	
		2学期	【古典】 ○随筆・物語等の読解 ☆動詞・形容詞・形容動詞の学習 ◇訓読のきまり・故事成語・韻文の読解	【古典】 ○話の概要を踏まえて、各文の主語や目的語を補うことができる ○場面や登場人物について整理した上で、筆者の主張や感情を読み解くことができる ☆動詞の活用の規則を全て覚える ☆文中における形容詞・形容動詞のはたらきを理解する ☆形容詞の活用の種類・活用の規則を覚える ☆形容動詞の活用の種類・活用の規則を覚える ◇漢文の訓読のきまりを覚え、訓読文を書き下し文に直すことができる ◇漢文で書かれた文章の概要を掴むことができる			①動詞の活用の規則を全て覚えている(☆) ②形容詞の活用の種類・活用の規則を覚えている(☆) ③形容動詞の活用の種類・活用の規則を覚えている(☆) ④漢文の訓読のきまりを覚えている(☆) ⑤定期考査で60点以上取ることができる	
		3学期	【古典】 ○物語・韻文等の読解 ☆助動詞「ず」「き・けり」「つ・ぬ・たり・り」「なり(断定)・たり(断定)」の学習 ◇史記等の読解	【古典】 ○各文の主語や目的語等の省略部分を補いながら文章読解ができる ○古文の世界観をより深く理解し、想像力を養う ☆文中における助動詞のはたらきを理解する ☆頻出の助動詞についてその活用の規則と接続、意味、現代語訳を理解し覚える ◇教科書本文の訓読文を全て書き下し文に直すことができる ◇漢文で書かれた文章の概要を掴み、現代日本との共通点や相違点について理解する			①助動詞「ず」「き・けり」「つ・ぬ・たり・り」「なり(断定)・たり(断定)」の活用表・接続・意味・現代語訳を覚えている(☆) ②古文単語50語程度を覚えている(＃) ③定期考査で60点以上取ることができる	
「関関同	各学年での目標 (中期的目標)	具体的な取り組み計画・内容				評価指標	自己評価	
		授業プラン	学習のポイント	土曜講習	放課後講習			
	○古文…古語で書かれている文章を読み、自分でその概要を掴むことができ	1学期	【古典B】 ○説話集・物語等の読解 ☆助動詞「る・らる」、敬語動詞の学習	【古典B】 ○原文を読んで、登場人物の把握ができる ○文中の不足している要素を補いながら現代語訳ができる ○古典常識の知識を習得する ☆助動詞の活用、接続、意味、現代語訳を覚え、文中での実際の使い方について理解する ☆敬語動詞のはたらきを理解する ☆尊敬語・謙譲語・丁寧語の敬意の向きを理解する ☆重要な敬語動詞を覚える ☆本文中に出てくる敬語動詞で示されている敬意の向きを指摘できる	・古文単		①原文の状態が登場人物を指摘できる(○) ②助動詞「る・らる」の活用表・接続・意味・現代語訳を覚えている(☆) ③敬語動詞の敬意の向きについて理解している(☆) ④定期考査で60点以上取ることができる	

立・産近甲龍」大学に合格するための古典分野の文章読解力、解答力を身につける	2年生	る。古文の世界観を知り、想像力を高める ◇漢文…漢文形式の文章を読み、自分でその概要を掴むことができる。また、本文から読み取れる教訓等を理解し、古代中国の思想が現代にどのような影響を及ぼしているか考えてみる # 古文単語150語程度の習得	【古典B】 ○随筆・物語等の読解 ☆助動詞「す・さす・しむ」「む・むす」「らむ・けむ」の学習 ◇故事成語・韻文・史記等の読解	【古典B】 ○原文を読んで、話の概要を掴むことができる ○敬語動詞の知識を用いて、登場人物の特徴が理解できる ○場面や人物関係等を踏まえて現代語訳ができる ☆助動詞の活用、接続、意味、現代語訳を覚え、文中での実際の使われ方について理解する ◇書き下し文を読解して漢文で書かれた文章の概要を掴むことができる ◇古代中国の世界と現代日本との共通点や相違点について理解しながら、古代中国における思想が現代日本に及ぼした影響などについても理解できる	語テストの実施(#) ・文法事項の復習(☆) ・文章読解(○) ※授業で学習した内容を補充、定着させる	①原文の状態では話の内容を掴むことができる(○) ②助動詞「す・さす・しむ」「む・むす」「らむ・けむ」の活用表・接続・意味・現代語訳を覚えている(☆) ③定期考査で60点以上取ることができる
		【古典B】 ○物語・韻文の読解 ☆助動詞「らし・まし・べし・めり・なり(伝聞推定)」「じ・まし」「まほし・たし・ごとし」の学習	【古典B】 ○原文を読んで、話の概要を掴むことができる ○これまで学習してきた文法事項が含まれる文の現代語訳ができる ○古典常識を踏まえて古文の世界をより具体的に想像し、現代語訳につなげることができる ☆助動詞の活用、接続、意味、現代語訳を覚え、文中での実際の使われ方について理解する	・授業で学習した文法事項の復習(☆)	①原文の状態では登場人物や話の内容を掴むことができる(○) ②助動詞「らし・まし・べし・めり・なり(伝聞推定)」「じ・まし」「まほし・たし・ごとし」の活用表・接続・意味・現代語訳を覚えている(☆) ③敬語動詞を含む古文単語を150語程度覚えている(#) ④定期考査で60点以上取ることができる	

各学年での目標 (中期的目標)		具体的な取り組み計画・内容				評価指標		自己評価
		授業プラン	学習のポイント	土曜講習	放課後講習			
3年生	○古文…古語で書かれている文章の細部に至る読解ができると共に、想像力を働かせて前後関係や因果関係を把握することができる。また、短文の現代語訳を含む選択力・解等力を身につける # 古文単語300語程度の習得	【古典B】 ○物語の読解 ☆助動詞の総復習 【国語演習】 ○問題集等を利用した古文の長文読解(☆実践演習含む) ☆助詞 【夏期休業中に文学史の学習を課す】	【古典B】 ○物語や随筆の読解を通じて古典の世界観を掴む ○古典常識の知識を蓄積し、読解の役に立てる ○本文では省略されている主語等を必要に応じて補いながら現代語訳ができる ☆2年次までに学習した文法事項を随時復習する 【国語演習】 ○問題集や過去問題相当の問題を利用して長文読解に積極的に挑戦する ○古文に描かれている世界観をもとに、文章の概要を自分で把握し、文の前後関係を理解しながら読解することができる ☆入試問題となるような文法事項を理解する ☆文法の総合的な知識の蓄積をめざし、識別問題にも挑戦する ☆文法の知識、読解力を総合して敬語動詞に関する問題に答えることができる	・文法の総復習(問題) ・文法の復習を兼ねた短文読解を通じて、古典常識の知識を増やす	・文法の復習を兼ねた短文読解(少しずつ文章量を増やす)	①志望大学が出題する文章量や問題傾向を知っている(○) ②助動詞「まほし・たし・ごとし」「なり・たり」の活用表・接続・意味・現代語訳を覚えている(☆) ③短文を何も見ずに現代語訳できる(○・☆) ④少し長めの文章に挑戦する姿勢をもつことができる(○) ⑤定期考査で60点以上取ることができる		
		【古典B】 ○物語、随筆の読解 【国語演習】 ○問題集や過去問題等を使用した古文の長文読解(☆問題実践含む) ☆識別		・文法の総復習(識別問題) ・長文読解を通じて、詳細な読解をめざす	・志望大学過去問題相当の問題演習	①大学入試過去問題相当の長文を読解して概要を理解することができる(○) ②文法を総合的に理解できている(☆) ③古文単語を300語程度覚えている(#) ⑤定期考査で60点以上取ることができる		

